



てつはうをつくる 2026

蒙古襲来絵詞模本（九州大学附属図書館蔵）

モンゴル襲来の武器 「てつはう」

「てつはう」は、鎌倉時代、日本に攻めてきた元(モンゴル帝国)が
使っていた当時の最新兵器、国宝『蒙古襲来絵詞』にも登場します。
石のようにも見える「てつはう」、実は土からできている！
粘土を使って「てつはう」を再現してみよう！



鷹島海底遺跡出土遺物「てつはう」

日時

8月1日(土)

10:00~12:00

場所

松浦市生涯学習センター
きらきら21 研修室3

定員: 10名程度(先着順)

対象: 小中学生

※小学3年生以下は保護者同伴

申込み: 定員になり次第終了

※2026年7月1日(水)から受付開始

参加費: 300円(材料費として)

※当日徴収

お問合せ及び申込先

松浦市教育委員会事務局 文化財課
0956-72-1111 (内線356)

松浦市立図書館
0956-72-4677

鷹島海底遺跡や「てつはう」を調べてみよう



図書館で調べ学習にチャレンジ!!

申込はQRコード
または申込書



ワークショップ『「てつはう」をつくる』

社会科(日本史)の教科書でも紹介される「てつはう」の実物を見て、レプリカを自分で作ってみよう!

- 日時 令和8年8月1日(土曜日) 10時00分から12時00分まで
- 会場 松浦市生涯学習センター 2階 研修室3
(〒859-4501 志佐町浦免1483番地1)
※現地集合・解散
- 内容 「てつはう」他郷土資料見学/粘土で「てつはう」づくり
- 対象者 小中学生
※3年生以下でも参加は可能ですが、難しい作業もあるので、保護者同伴でご参加ください。
- 参加費 300円(材料費)
※同伴者も”てつはう”作りを行いたい場合は、参加費が必要です。同行するだけであれば参加費は無料です。



出張!埋蔵文化財センター
きらきら21に「てつはう」登場!!

2階 郷土資料室も8/1オープン
市内遺跡などの土器、陶磁器などを
展示しています

ワークショップ『「てつはう」をつくる』申込書

【申込者(保護者)】

以下の注意事項を
確認、同意した上で、
参加申込します。

フリガナ 氏名 (署名)	
住所	
連絡先	
メールアドレス	

<イベント参加に係る注意事項>

- 1 荒天や災害発生時の場合は、プログラムの一部を変更する場合があります。
- 2 大規模災害などの発生に伴い、開催自体を見合わせる場合もあります。
- 3 本イベントの実施状況を静止画、動画で撮影する予定です。撮影したデータは、ホームページやSNS等で活用する可能性があります。
- 4 本イベントは現地集合、解散です。主催者側での送迎は行いません

	お名前・フリガナ	学年または年齢
参加者①		小学・中学()年生,()才
参加者②		小学・中学()年生,()才
参加者③		小学・中学()年生,()才
参加者④		小学・中学()年生,()才

※参加費は、上記参加者数×300円です。当日受付時に集金します。お釣りがないようにお願いします。
同伴者も製作希望する場合、上記に名前等記入の上、参加費をご用意ください。